

# エコアクション21

2019(令和元年)年度 環境経営レポート



- 環境経営方針
- 推進体制と役割権限表
- 事業・組織の概要
- 中期目標(2019年度～2021年度)
- 2019年度取組計画
- 2019年度環境活動の実施状況
- 取組の評価
- 次年度の取組
- 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
- 代表者による全体の評価
- 社会貢献活動等

株式会社 野尻金属

作成日：2020年3月30日

## □環境経営方針

### 基本理念

野尻金属は、資源の循環を通して、より良い未来をつくるため、  
経済と環境の調和を目指す、持続可能な社会の実現に貢献する。

### 行動指針

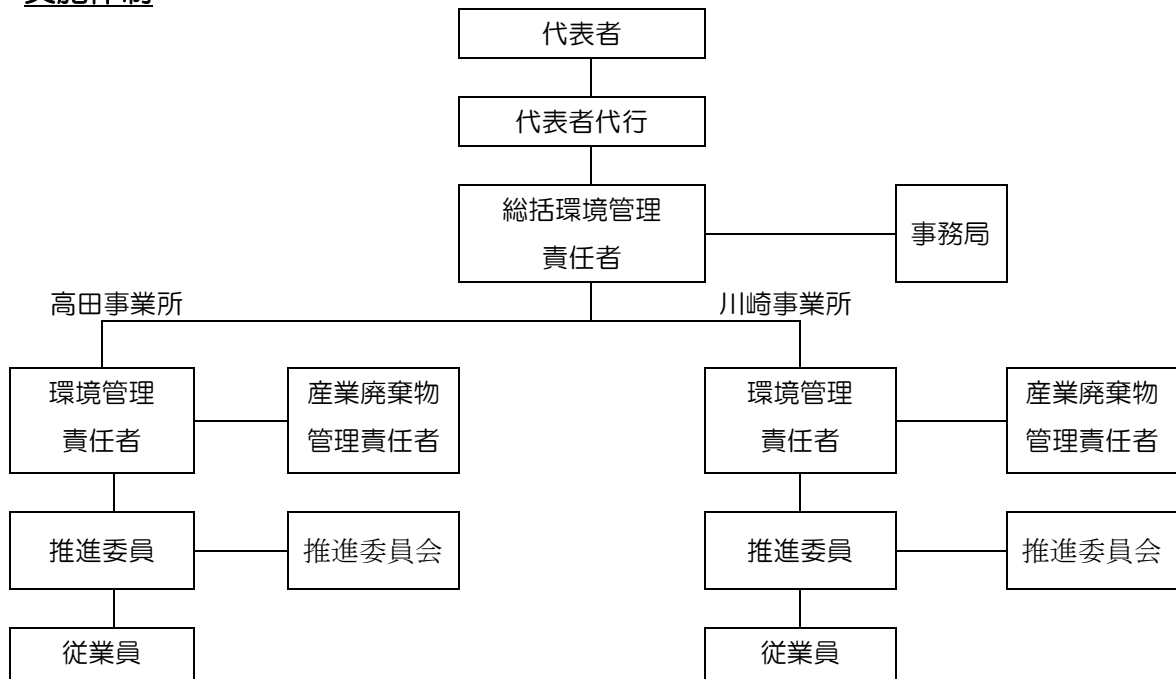
- 1 環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売の推進により、  
お客様のリサイクルやグリーン調達に貢献する。
- 2 事業活動における無駄を削減し、生産性を高めることで、  
資源・エネルギーを効率的に活用し、環境負荷の低減に取り組む。
- 3 当社に適用される環境関連法規等を遵守する。
- 4 環境目標及び計画を策定し、達成のための取り組みを実施する。  
また、この活動内容を定期的に評価して、継続的な改善を図る。

2018年7月6日改定

株式会社 野尻金属  
代表取締役社長 野尻 勝志

## □実施体制図・役割権限表

### 実施体制



当社のEA21活動を推進するために下記の組織を定めました(2019年6月10日改定)。

### 役割権限表

役割	責任及び権限
代表者/代表者代行	① 環境経営に関する統括責任
総括環境管理責任者	① 環境経営システムの構築、実施、管理
	② 環境活動の取組結果を代表者・代表者代行へ報告
事務局	① 総括環境管理責任者及び環境管理責任者の補佐
	② 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	③ 環境経営レポートの作成、公開
環境管理責任者	① 各事業所の環境経営システムの構築、実施、管理
産業廃棄物管理責任者	① 産業廃棄物の排出抑制、再資源化及び減量化の企画検討
	② 産業廃棄物の処理基準、保管基準の遵守、管理
	③ 処分方法の検討、処理委託先の選定、委託契約書の締結等
	④ マニフェストの交付、回収、保管、管理、行政へ報告
推進委員&全従業員	① 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知
	② 自部門の環境目標及び取組計画の達成、実績の把握
	③ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	④ 自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練の実施
推進委員会	① 環境経営計画の審議
	② 環境活動実績の確認・評価

## 事業・組織の概要

### 会社名・代表者名

株式会社野尻金属  
代表取締役社長 野尻 勝志

### 設立・資本金

1972(昭和47)年9月1日  
4,400万円

### 所在地

本社（登記上） 〒965-0845 福島県会津若松市門田町工業団地 22 番地  
（対象範囲）  
本社（高田事業所） 〒969-6207 福島県大沼郡会津美里町字宫里 21 番地  
川崎事業所 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町 6 番 4 号

### 事業内容

非鉄金属の精錬、加工、販売及びリサイクル

### 総括環境管理責任者

高橋 裕一

### 担当者連絡先(環境管理責任者)

高田事業所 高橋 裕一 TEL 0242-55-0071  
川崎事業所 嶋方 康一 TEL 044-333-1105

### 事業の規模(2019年度)

年商 34 億円  
主要製品生産量 14,181 t

	従業員	敷地面積	床面積
本社(高田事業所)	43名	22,119㎡	7,204㎡
川崎事業所	11名	729㎡	537㎡

本社（高田事業所）



川崎事業所



\*レポートの対象期間は2019(平成31)年3月1日~2020(令和2)年2月29日になります。

□中期環境目標(2019~2021 年度)

作成日 2019年3月15日

環境目標項目	単位	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		事業所	基準値	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比
低環境負荷製品	t	全体	15,318	15,471	101%	15,624	102%	15,778	103%
		高田	12,608	12,734		12,860		12,986	
		川崎	2,710	2,737		2,764		2,791	
二酸化炭素	t	全体	1,724	1,707	99%	1,690	98%	1,672	97%
		高田	1,341	1,328		1,314		1,301	
		川崎	383	379		375		372	
上水	m3	全体	1,517	1,517	100%	1,517	100%	1,517	100%
		高田	1,072	1,072		1,072		1,072	
		川崎	445	445		445		445	
一般廃棄物	kg	全体	1,226	1,226	100%	1,226	100%	1,226	100%
		高田	226	226		226		226	
		川崎	1,000	1,000		1,000		1,000	
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	21,553	21,553	100%	21,553	100%	21,553	100%
		高田	18,150	18,150		18,150		18,150	
		川崎	3,403	3,403		3,403		3,403	

低環境負荷製品	数値評価	環境負荷項目
120%以上	◎	80%未満
100%以上 120%未満	○	80%以上 100%未満
80%以上 100%未満	△	100%以上 120%未満
80%未満	×	120%以上

## □2019年度取組計画

2019年度において、以下の取り組みを進めて参りました。

管理項目	取組活動計画	
	高田事業所	川崎事業所
荷製品 低環境負	低環境負荷製品普及に取り組む(新規顧客の獲得) 同製品の品質向上&生産量の向上に取り組む 環境負荷物質の少ないリサイクル原料の仕入・販売量増	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力量の削減 節電意識の向上 エアコン温度管理の徹底 圧縮空気の漏れ根絶 各集塵機インバーターの活用 LPG使用量の削減 生産性向上 各炉の温度管理と制御の徹底 設備蓄熱の活用 漏れ根絶 軽油使用量の削減 エコドライブ運転 過積載の防止 制限速度の遵守 運搬方法の最適	購入電力量の削減 圧縮空気の漏れ根絶 集塵機,コンプレッサー、コンベヤの 適切なオン・オフ 都市ガス使用量の削減 生産性の向上 温度管理 不良削減 坩堝炉のタイマー管理 軽油使用料の削減 エコ運転の実施 走行距離走行時間の削減 過積載の禁止(トラック)
上水の管理	節水の呼びかけ(社外関係者に協力要請) 給水圧減 洗濯物のまとめ洗い徹底 節水シャワーヘッド使用 漏水の定期点検	漏水箇所の改善(バルブ交換) 節水
物管理 一般廃棄	資源回収の徹底 減量化の取組促進 分別徹底	一般ゴミと売却品の分別 裏紙の使用によるゴミ削減
管理 産業廃棄物	耐火物施工方法の再考 パレットの返却・再利用促進 保管場所適正管理	廃棄物の分別徹底 可能な限り圧縮し減容

## □2019年度環境活動の実施状況とその評価

管理項目	単位	2019年度目標		2019年度実績			2018年度実績	2017年度実績
		事業所	目標値	実績値	年度比	評価	実績値	実績値
低環境負荷製品	t	全体	15,471	13,123	85%	△	15,318	-
		高田	12,734	10,658	84%	△	12,608	-
		川崎	2,737	2,465	90%	△	2,710	-
二酸化炭素	t	全体	1,707	1472	86%	○	1,724	1,609
		高田	1,328	1,100	83%	○	1,341	1,260
		川崎	379	372	98%	○	383	349
上水	m <sup>3</sup>	全体	1,517	1,344	89%	○	1,517	1,661
		高田	1,072	997	93%	○	1,072	1,203
		川崎	445	347	78%	◎	445	458
一般廃棄物	kg	全体	1,226	2,252	184%	×	1,226	240
		高田	226	1,256	555%	×	226	140
		川崎	1,000	996	100%	△	1,000	100
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	21,553	15,699	73%	◎	21,553	16,900
		高田	18,150	8,400	47%	◎	18,150	16,900
		川崎	3,403	7,299	214%	×	3,403	比該当

※ 排出係数（平成30年度(2018年)排出算定係数）

高田事業所：東北電力(株)0.523kg.Co<sub>2</sub>/kwh 川崎事業所：東京電力エナジーパートナー(株) 0.462 kg.Co<sub>2</sub>/kwh

## □取組の評価

管理項目	高田事業所	川崎事業所
低環境負荷製品	低環境負荷製品普の品質向上&生産量の向上に取り組んだが、景気悪化による受注量の大幅減により、目標達成出来なかった。	
二酸化炭素	取組内容をしっかり行い目標達成できた。 受注量減少や暖冬の影響もあるが削減の取組が継続できている。	遠方顧客へのトラック出勤回数が増えたため、全体的に削減目標を達成出来なかった。 電力・都市ガスについては、生産調整もあり目標達成できた。
上水	クリーニングの一部を外注することで目標達成できた。 漏水箇所の発見もあり、漏水対策も必須である。	稼働日数減により目標達成できた。 節水の取組の継続が必要である。
一般廃棄物	計量方法を変更したため目標達成出来なかった。今年度の数値をもとに次年度以降、しっかり削減に取り組んでほしい。	種別毎の適正管理が定着した。 各人の分別に対する心構えが継続できている。
産業廃棄物	耐火物施工方法の再考により、目標達成することができた。	引き続き今年度のデータを精査後、新しい中間目標を設置したい。

## □ 次年度の取組

管理項目	高田事業所	川崎事業所
荷製品 低環境負	環境負荷物質を含まないリサイクル原料の仕入・販売量の増量 新規案件の獲得&情報収集	
二酸化炭素	<p>購入電力量の削減</p> <p>節電意識の向上の継続</p> <p>エアコン温度管理の徹底の継続</p> <p>圧縮空気の漏れ根絶</p> <p>各集塵機インバーターの活用の継続</p> <p>LPG使用量の削減</p> <p>生産性向上の継続</p> <p>各炉の温度管理と制御の徹底</p> <p>設備蓄熱の活用の継続</p> <p>漏れ根絶</p> <p>給湯器温度設定の見直し</p> <p>軽油使用量の削減</p> <p>エコドライブ運転の継続</p> <p>過積載の防止</p> <p>制限速度の遵守の継続</p> <p>運搬方法の最適化の継続</p> <p>融雪水の効率的利用の継続</p>	<p>購入電力量の削減</p> <p>節電の継続</p> <p>圧縮空気の漏れ根絶</p> <p>集塵機,コンプレッサー、コンベヤの適切なオン・オフの継続</p> <p>都市ガス使用量の削減</p> <p>生産性の向上の継続</p> <p>温度管理の継続</p> <p>不良削減</p> <p>坩堝炉のタイマー管理の継続</p> <p>軽油使用料の削減</p> <p>エコ運転の実施の継続</p> <p>走行距離走行時間の削減</p> <p>過積載の禁止(トラック)</p>
上水	<p>節水の呼びかけの継続</p> <p>まとめ洗いの継続</p> <p>節水型シャワーヘッド導入</p> <p>給水圧減の取組</p> <p>漏水の定期点検の実施</p>	<p>漏水箇所の改善</p> <p>節水の呼びかけの継続</p>
廃棄物 一般	<p>資源回収の徹底の継続</p> <p>減量化の取組継続</p> <p>分別徹底の継続</p>	<p>一般ゴミと売却品の分別の継続</p> <p>裏紙の使用によるゴミ削減の継続</p>
廃棄物 産業	<p>耐火物施工方法の再考</p> <p>パレットの返却・再利用促進の継続</p> <p>保管場所適正管理の継続</p>	<p>分別の徹底の継続</p> <p>可能な限り圧縮し減容</p>



## □2019年度 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

遵守状況については、環境管理責任者、副環境管理責任者及びにおいて統括しており、環境関連法規の遵守に努めています。今年度、各事項の法遵守状況を整理した結果、環境関連法規に関する違反等はありませんでした。また、関連機関や地域からの指摘・苦情もありませんでした。

## □代表者による全体の評価

「環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売を推進」の項目を追加したことで、より社会でのCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献している企業であることをアピールできるようになった。

しかし今年度は、二酸化炭素排出量減の達成に環境負荷の少ない非鉄製品の製造販売減が寄与し、達成感が半減してしまった。

昨年度から始まった高田で50kgポンベの使用量の把握や、川崎事業所で産業廃棄物の管理について、次年度から削減の取組を始めてもらいたい。

フレコン・パレット等の納入先を改善し廃棄物を削減できたことなど、改善してきたことが成果として目に見えるようになってきた。全体としてはまだまだであるが、目標達成のために日々の創意工夫をさらにお願いしたい。

2020年3月26日

代表取締役社長

野尻 勝志

## □ 社会貢献活動等

### カーボン・オフセット

新たな取組として、毎年同社が排出するCO<sub>2</sub>の1%をカーボン・オフセットしました。

今年度、

CO<sub>2</sub> 6トン 新潟県津南町

CO<sub>2</sub> 9トン 北海道下川町

また、同上企業の活動に賛同し、環境維持のために支援しています。



### グリーンサイトライセンスの登録

グリーンサイトライセンスとは、環境貢献活動と、サイトでの環境貢献のPRが結びついたサービスで、企業や消費者が環境保護を身近に感じる機会を提供しています。

当社は2013年4月25日に登録し、継続してモンゴルでの植林を支援しています。

また、当社のホームページ上に証明書を設置しPRに利用しています。

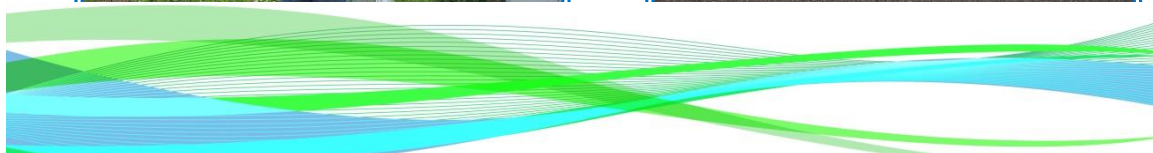


### 工場周辺の環境美化

日 時：2019年7/5, 10/28

場 所：当社本社工場及び高田工場周辺

参加人数：15人



## AED 自動体外式除細動器の導入

# AED

Automated External Defibrillator



自動体外式除細動器

2014 年度より AED を設置しました。

緊急時、全社員が救命措置を取ることができ、不慮の事故に対し迅速に対応できるように取り組んでいます。



救命救急訓練 2019/12/9

